

事業者名	脱炭素への取組について
株式会社千葉銀行	☒ 実施した ☐ 実施していない

2025年度取組内容（図や表、写真を挿入していただいて構いません）

<2030年度カーボンニュートラルに向けて>

当行グループは、2022年3月に「2030年度までにCO2排出量（SCOPE1+2）ネットゼロ」とする目標を公表し、排出量削減に取り組んでいます。2025年度は中間目標である4,800t-CO2を達成し、4,568t-CO2となり、前年度に比較し約9%減少しました。引き続き、排出量削減に向けた取組みを進めてまいります。

<サステナブル・ファイナンス推進>

お客さまの環境課題や社会課題の解決を支援し、持続可能な社会の実現に貢献するため、サステナブル・ファイナンスを推進しています。2025年7月末時点において、当初の実行額目標2兆円（2030年度まで）を予定より早く達成したことから、新たに目標を4兆円へと上方修正しました。今後も地域金融機関として、環境課題・社会課題の解決に資するさまざまなソリューションをグループ一体となって提供し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

	実行額目標（2019年度-2030年度）	実行額実績（2019年度-2025年度）
サステナブル・ファイナンス	4兆円	2兆3,954億円
うち環境系ファイナンス	2兆円	1兆2,976億円

<電力事業会社「ひまわりグリーンエネルギー㈱」>

再生可能エネルギーの地産地消を目的に設立した電力事業会社「ひまわりグリーンエネルギー㈱」では、現在3つの太陽光発電所を設置しています。年間発電量は千葉銀行グループの年間電力使用量の約40%に相当する規模となっています。

また、積水ソーラーフィルム株式会社、株式会社TERRA、国立大学法人千葉大学と産学連携に関する覚書を締結し、フィルム型ペロブスカイト太陽電池*を用いた営農型太陽光発電設備を2026年3月に千葉大学柏の葉キャンパスに設置、本連携による取組みを開始しました。今後も、再生可能エネルギーを活用した事業を加速させ、地域における脱炭素社会の実現に貢献していきます。

*フィルム型ペロブスカイト太陽電池とは薄くて軽量、曲げられる次世代の太陽電池



©2026 SEKISUI CHEMICAL CO.,LTD.